

常警文藝

私の川柳

ノートから
新島 新坊
用談が濟むと二階は手を叩き
涼み臺書の暑さを繰り返し
絹團扇去年の夏は娘にて
無器用な手で父ちやんは鶴を折り
親切な看護婦が来て気が變り
親切にされて宿屋を一にし
俄雨自働電話で傘を待ち
洋傘に腮を乗せてる物思ひ
借先がちよつと云へない紺蛇の目
玩具屋に又父ちやんは手をひかれ
冬服が氣になる秋の風が吹き
床の番抽斗なんぞ開けて見
る
じんみりと意見をされて涙ぐみ
嗚するたんび風邪ですかと訊かれ
學校で友達が減る親の罪
母親は自分の罪にしてしまひ
袂から出る歡樂の夜のツケ五分五分の罪で手打ちの酒になり
洗濯に又愚痴が出る釘の錆
催促の葉書は千々に引裂かれ

急告

廿五日より
大賣出し
本セル

本セル
一反 七、八〇より
本セル船來一反 三、五〇より
本セル純毛一反 一〇、五〇より
平町三丁目
三井吳服店
電話三八番

今秋の流行品
中折帽 一圓八十錢ヨリ
三折帽 一圓五十錢ヨリ
サシ帽 四圓五十錢マデ
烏打帽 三圓五十錢マデ
子供帽色々
最新式豊富ニ揃マシタ
磐城平町
電話百四十番

大々的勉強仕
少量ニテモ御用
命ノホト願マヌ
迅速ニ配達致シマス
(コンクリート用)
砂利及砂
中山岩採掘販賣
此レニ附隨スル
土工請負業

石材商會
南町火見下
電話呼出二六七番
鈴木彌米

罹災の時に保険金を廿時間以内に
而も寛大に親切に支拂ふ事を以て
湧くが如き大歡迎を受けつゝある
東邦民衆保險
火災
保険料は極く僅かのもので有ます
ハガキか電話で御申込み下さい
特に御便利に御契約引受致します

磐城代店
草野源三郎
平町四丁目
電話一七五番

久野製菓販賣部
新らたに菓子工場を經營して皆様方
の御家庭にお安く提供すること
ました何卒お買の程を
福島縣平町一丁目
電話 一五〇番
工場 平町長橋町六十一番地

大谷保太郎商店
平町南町(電話三四四番)
外交員數名募集
福島共榮無盡株式會社代理店
衛生材料、被服、藥品、食料品
和洋小間物、雜貨、卸小賣

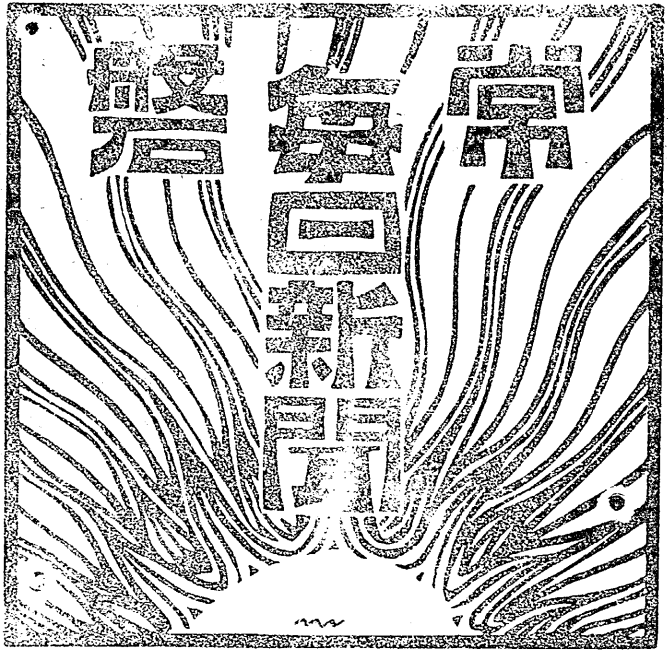
眞に是れ鬼に金棒!
耐火耐震耐久力の絶大なる
日本コンクリート鐵網
拔群優秀なる斯界の權威
磐城セメントを推奨す
最も經濟的に然も超越せる無比の良材
(施工説明書を進呈致します)
特約代理店 平町五丁目
和洋銅鐵
金物問屋
久釜屋商店
電話 九番、一三九番

吉田眼科醫院
平町星組

株式買賣中値
電話に金融致し

Table with exchange rates and prices for various banks and goods. Includes entries for 磐城銀行, 平銀行, 同新, 同新, 同新, etc.

丸登株式会社
平町田町 電話三三三番
川添房二郎



九月廿九日夕刊

發行編輯人 川崎文治
福島縣石城郡平町長橋町廿五番地
發行所 常盤毎日新聞社

定 一割金貳錢 廣 五割十二休 日曜大祭 福島縣石城郡平町長橋町廿一
一ヶ月廿錢 告 字詰一行 刊 祝日ノ翌 印刷所 本社専屬 陽 社
價 郵税五厘 料 五十錢 日 日

社説

淺薄なる研究(五)

川崎文治

而して彼等の稱する水量半減の契約が町當局者の大なる失態の如く故意に難辯を附する者がなきにしもあらずる模様である爲め更らに一言を加へて置かねばならぬ、最初平町が好間川から取水するに當り好間各堰組合は自營上から平町に對して種々の難題を提出した爲め折衝一方ならぬ困難を極め一時は其交渉が中途に於て遂に頓座するの止むなきに陥つた事もある、故に町當局はもとより當時の水道

委員は連日連夜其交渉に努力し兎にも角にも事なきを得た其勞は、當時町民多數の感謝的となつたのである、斯る事情である爲めに半減の問題も波瀾曲折に富む折衝の末町會が擧つて此事を容認するに至つたもので勿論町當局の獨斷的契約に基く失態なりと責むる譯には行かない、然かも同契約を目して是れを直ちに平町の不利益なるが如く唱ふるは甚だ其當を得ざるものであつて、假りに斯る契約がなかつたとしても隣村好間村が早急に際し村民危急存亡の時である場合に當り平町獨り豊富なる水量を自

平上水道研究会の意見書は断案でない

末だ末だ研究が足りぬ

萩原義雄氏が言明

平水道研究会の公表せる意見書が同會研究の断案なりとすれば平町多數の輿論に反し人心を惑はす事甚だしき爲め大瀧發電所許可反對同盟會にて是れに對して何等かの對策を講ずべき協議の結果前提として同會の中心人物たる萩原義雄氏と會見するの必要を生じ一昨夜七時委員として大原會長、植頭副會長、三森、川崎兩常務委員が萩原氏宅を訪れ萩原氏との間に種々意見を交換した結果

電光赫やく

夜の美觀を

平町町にては驛前から郡役所へ通ずる路上に二百燭光の外燈十二個を來月上旬から設置する筈であるから三丁目兩側の燦爛たる外燈と共に平町の夜に美觀を添はるであらう因に經費は約千圓有餘にて負擔は同町區民が用費するのであると

免人の保護

自營會活動

免因保護を目的とする平自營會は創立以來毎年御内帑金三百圓御下賜の恩命に浴び漸次發展の機運に向へつゝ刑餘者、起訴猶餘者、刑の執行猶餘者は勿論、刑餘者の家族を保護し少年法に基く不良少年等に至る迄保

元代議士が

病弱の研究

石城郡山田村元代議士安島

常磐片々

骨折損のクタブレ儲けの標本は水道研究会の意見書の種となる
折角配つたはよいが物笑ひの種となる
氣の毒さ加減では確かに近來の傑作

幾度平署が取締つても平驛前に雲集する旅舎番頭も飯の上の蠅の如し

大杉神社禮祭

平町材木町欣淨寺境内に新築した大杉神社は來月一日遷宮式を舉行する筈であるが當日及び其前日は余興として水戸神樂の催しある由

高坂坑採炭不能か

排水機も遂に破壊

石城郡内郷村磐城炭礦高坂坑第二卸は十七日來の豪雨にて廿二日より俄然坑内に大水あり千五百キロの偉力を示す變壓排水機を以つて極力排水中廿七日午前四時頃運轉過重の爲めに同機破損し遂に排水不能に陥つた爲め東京芝浦に同機機械の購入方を交渉したけれども共同機が無い爲め大狼狽を來したが現在一分間に二百〇立方尺の出水あり今後の採炭不能であらうといふ

悪番頭出沒

平署極力矯正

平驛前番頭が種々變装し客引をなし市街地にあるまじき行動に出づるに關し平警察署では從來嚴重なる取締をなしてゐるが、彼等は巡查の顔を見知りある爲め出沒巧にして平署に於ては手古すつてゐるが實際東北に於て遊覽地以外に於て旅館の番頭が驛前まで出かけ執



編む品による
毛糸の量

編物に要する毛糸の量は大小にも編み方にもよりますが普通小供物のスエターは十オンス前後から十二三オ

泉村を中心

今廿九日から

既報石城郡泉村を中心に渡邊、小名濱、江名町の一部を區域とする測圖演習は士官學校卒業生百〇四名二十九日到着の上九日間に亘り舉行する模様で本部は泉村大字泉小林藏次氏宅にて別枝中佐、山田大尉、書記及び從卒等宿泊し第四中隊は泉驛前及字泉、第五中隊は瀧尻及び玉露、第六中隊は渡邊村田邊といづれも二三名宛分宿するやう決定

個人消息

吉本眞一氏 (入山炭礦所長) 過般足部を負傷加療中の處快癒し來月十二日午前十時から湯本三函座に於て盛大な全快祝を催すと

産馬狀況

長足の發達

石城郡に於ける産馬狀況は近來殊に發達し今年年産十一萬七千八百餘頭に達して

不平受付

使はぬ瓦斯代 私の家では瓦斯を百廿米突しか使はぬのに郡電の集金人が三百米突の瓦斯代を請求に參りました、使用せぬ瓦斯の料金を支拂ふ義務はない筈なのにどうも如何なものでせう (不平生)

募集

島村トク子氏は廿一日長橋町にて一圓十三錢在中の皮褌口△田町佐々木次郎氏は廿八日同町にて敷島百個を收得此程平署に届出た

平町人事

△出生 吉成善一郎氏長女キヨ子
△三丁目 長見邦兵衛氏長男敏夫
△四丁目 磯田勝次郎氏長女キヨ子
△婚姻 飯野保氏(三三)石城郡小名濱町小野モト(二三)

△廿二日 警中前にて一圓卅四錢在中の褌口△仲間町小林龍藏氏は廿六日北神谷にて六圓十錢在中のフニ皮褌口△内郷村御厩